



永野町政 4期目 始動 実践するステージへ



振り返ってみますと、3期12年間はあっという間だったと感じています。4期目はこれまでに取り組んできた様々な施策を実践するステージとなります。職員の皆さんと心ひとつとして、町民の皆様を第一に邁進していきたいと思えます。

4期目は、4つの柱を軸に町の振興に取り組んで参ります。

1つ目は、民間の商業ロケットの打ち上げです。宇宙開発については、肝付町だけでできるものではありませんので、オール九州で取り組む前提として、それぞれの関係機関にも議論に入っていただいておりました。先般、国へ要望書を提出した時に感じたことは、各県庁も民間の商業ロケットによる宇宙ビジネスが展開される、そういう時代を見据えているということですから。私たちが今為すべきは、鹿

児島県や九州経済連合会と一緒に、宇宙開発の取り組みを加速していくことです。内之浦からのロケット打上げについて、一部の企業には打診もしており、条件が整えば打ち上げたいとの意向も示されています。年に何十機も打ちたいという声もあります。長きにわたり取り組み、コツコツと進めてきた手応えを感じていますので、さらに進めていき、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。

2つ目は、教育です。文部科学省がGIGAスクール構想で全国の小中学校に対し、タブレットを活用した教育を推進しています。我が町もいち早く学校ICTの環境を整えました。しかしながら、子どもたちの教育に活かしていくことが最も重要です。学校現場の先生方やPTAの皆様など、すべての力を結集しながら確実に前に進めてまいります。県内で唯一、文部科学省から教育長を派遣していただいていますので、国の動向をいち早くとらえ、子どもたちに充実した教育ができるよう努めてまいります。

3つ目は、誰もがいきいきと幸せに暮らせる持続可能な社会

を作っていくことです。例えば、地球全体の温室効果ガスが増えることによる地球温暖化や異常気象が発生しているというのは皆さんも実感していることだと思います。国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロにする脱炭素社会の実現を目指しています。肝付町は、ゼロカーボンシティ共同宣言を行いました。役場すべての課において、取り組みを加速させてほしいと思います。

4つ目は、デジタル化の推進です。これまで役場では、町民の方々に対して、窓口でのサービスを中心に取り組んできました。これからの時代は、わざわざ役場へ足を運ばなくても済むサービスの提供を作り上げていくこととなります。すなわち、パソコンやスマホから申請ができる制度や社会を作っていくければならないと思っています。すべての課に共通した課題であると認識して、全庁的な取り組みにより町民の豊かな生活に繋がっていききたいと思えます。

4年間頑張っていく所存でありますので、どうぞ、よろしく願っています。

(町長就任式あいさつより)

CONTENTS : 目次

広報きもつき vol.195 September 2021

- 02 目次
- 03 観測ロケット打ち上げ成功
- 04 夏祭り特集
- 08 町からのお知らせ
- 09 まちの話題
- 10 コロナワクチン情報 ほか
- 11 えっがね祭り
- 12 林務水産課会計年度任用職員募集 ほか
- 13 相続登記 ほか
- 14 インフルエンザ予防接種助成 ほか
- 15 金婚表彰 ほか
- 16 きもつき塗り絵コンクール

- 17 楠隼中学校・高校だより ほか
- 18 学校ニュース
- 20 地域おこし協力隊活動報告 ほか
- 21 京和のお国自慢 ほか
- 22 本の森
- 23 セーフティライフくのみ岳
- 24 栄養士さんが教えるレシピ
- 25 一般広告
- 26 子育て支援施設紹介 ほか
- 27 人のうごき ほか
- 28 暮らしのカレンダー



8月9日、岸良海岸にてうみがめの放流が行われました。

2頭のうみがめが産んだ卵261個のうち前日までに孵化した中から42匹のうみがめの赤ちゃんを大海原へ送り出しました。

参加した人たちは最後のうみがめが海に入るまで温かいまなざしで見守っていました。

